

第 35 回高知県がん対策推進協議会 要旨

1. 開催日 令和 4 年 3 月 24 日 (木)
2. 場所 書面審査
3. 参加者 協議会委員 出席 17 名 ※欠席 2 名
4. 議題

- (1) 第 3 期 高知県がん対策推進計画の進捗状況について
- (2) 令和 3 年度 患者満足度等調査の結果について

5. 概要

- (1) 第 3 期高知県がん対策推進計画の進捗状況について
委員及び事務局から資料について説明があった。主な意見と回答は次のとおり。

①がん患者の自宅看取率が 12.2%と高いが、地域別のデータはあるか。

→県全体のデータのみであり、地域別、市町村別のデータはない。

②がん検診受診率について子宮頸がん検診だけ伸びているが原因分析はできているか。

→原因分析はできていないが、HPVワクチン接種勧奨において検診受診勧奨もセットで実施するように言われるようになってきているので、その影響ではないか。

→いまだに不安でがん検診に行かないという方が一定数いることが調査結果からわかっており、がん検診の受診率がすぐに回復するかは疑問。

※別添参照：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社の調査結果 2020、2021 版

③がん検診を医師から勧めるために国がパンフレットを作った（一定の制限もある）と聞いている。県では利用する予定があるか。またパンフレットを医療機関に置くだけではなく、渡すことが必要と考えるがどうか。

→かかりつけ医を通じた受診勧奨に対する国の補助はあるが、市町村の活用はない。活用について市町村担当者等で周知していく。

④大腸がん検診の郵便検診が中止になっているがコロナの状況では実施は難しいのか。

→国から推奨されていなかったが高知県では実施していたもの。新型コロナウイルス感染症の影響で正式に中止の通知があったため、中止とした。

⑤ピアサポーターについて、がん教育の体験者として活躍しているような状況になっているか。

→R 4 年度は、ピアサポーターを育成する前に、がん相談センターの相談員の皆様とピアサポーターの勉強会から検討したい。

⑥拠点病院の取組内容を医師会で講演していただけると患者さんに適切な情報を提供することができる。

→そのような機会を作っていただけると有難い。

⑦幡多けんみん病院の歯科衛生士 2 名配置で良くなったことがあれば教えてほしい。

→高齢の患者さんが多く、歯医者さんにかかっていないことが多いが、その患者さんを地元の歯科医師に連絡して診てもらおうようにしたりととても助かっている。

⑧日本癌治療学会が実施している認定がんナビゲーター制度がある。がん患者さんを拠点病院等の相談センターへつなぐ役割を担ってもらうもの。高知県でもシニアナビゲーターを 1 名養成した。調剤薬局の先生方は患者さんの困っていることなどを把握する機会

が一番多いと思われるので、ぜひ認定ナビゲーターを検討していただきたい。

→薬剤師会でも紹介したい。

⑩精密検査の通知の中に QR コードを入れて、どのような病気でそのままにしておくとうなるというような情報提供ができないか。県全体としてやっていったらどうか。

→精密検査を受診できる医療機関の一覧を QR コードで紹介することもできる。

→オリンパスと大学、企業とでラインを活用して大腸がんの精密検査の方にはラインで受診勧奨を行うという取組を室戸市で進めようとしている。今後、対象疾患及びエリアを広げていけるのではないかと考えている。同様に IT を使った取組であるので紹介する。

(2) 令和3年度 患者満足度等調査の結果について

事務局及び委員から資料について説明があった。主な意見と回答は次のとおり。

①離職のタイミングについて、治療が始まっていない時に仕事を辞めているため、公的な支援が受けられないことが問題。辞める前に相談すれば支援がある。がんになると収入が4割下がるというデータもある。周知が必要。今年度のがんフォーラムでは就労支援も取り上げた。

②6ページの「医師からセカンドオピニオンについて説明はありましたか」という質問に対して「はい」と答えた方は25.3%と少ない。拠点病院では全員に説明しているのではないのか。100%になるべき。

→説明はしている。

③15ページの性別・年齢別の満足度について、女性40代の不満が多い。18ページ、22ページの前立腺がんについても不満が多い。医療機関に結果をフィードバックしてはどうか。また、35ページの相談した人の役立ち度について、人事・労務担当者など事務方とも連携してほしい。

→10件以上の調査票配布に協力いただいた医療機関へは個別に結果を集計してお返ししている。